

「グリーン・イノベーション」

—価値観を変える明日の生命と地球のための技術—

ポイント

- ・関係する研究者や技術者に限らず、国民にも新しい技術の内容や方向を理解していただくため、これからの時代が求める新しい技術を切り開く図書
- ・農業・農村の持つ自然循環機能を活かした、およそ10年先を見通した「グリーン・イノベーション」に資する価値観の転換と新しい技術を紹介

概要

農研機構 農村工学研究所は、関係する研究者や技術者に限らず、広く国民にも新しい技術の内容や方向を理解していただくため、この度、「グリーン・イノベーション—価値観を変える明日の生命と地球のための技術—」という図書を出版致しました。研究所の研究者が集まり、編集委員会を作り、様々なアイデアを持ち寄り、こんな農業・農村があるべき姿ではないかと提起しています。

問い合わせ先

編集推進責任者 農研機構 農村工学研究所 所長 小前隆美

編集担当者 農研機構 農村工学研究所 企画管理部長 小泉 健 TEL 029-838-7503

広報担当者 農研機構 農村工学研究所 情報広報課長 古澤祐児 TEL 029-838-8169

出版の背景（グリーン・イノベーション）

農業や農村には、もともと循環という自然の科学的機能を最大限活かした技術（知恵）があります。21世紀初頭に立つ私たちは、国内の農業等の課題に限らず、人口爆発、温暖化の進行、生態系の破壊、資源濫用など地球規模の危機に直面しています。今日の文明が直面している地球規模の危機に対しては、個別的、部分的な対応では不十分です。このため、自然循環の原理を最大限活かした食料生産の基本である農業とそれを育む水土を通じた循環の営みが農村社会のあるべき姿であると考え、それに資する技術のビジョンと具体的な技術開発目標をまとめ、地球環境の保全という外なる自然と人々の心の豊かさという内なる自然を育む契機になることを願い、一冊の図書に取りまとめました。

内容

内容は、5つの章から構成されています。第1章「農業と農村の技術と特色」では、農業や農村が果たしている循環の原理を説明しています。第2章「これからの技術のビジョン」では、今直面している各種の課題を具体的に提起しています。第3章「技術開発の目標」では、若手研究者のアイデアをもとに、わかりやすい文章と絵で 29

このような構成から、本書は価値観を変えるために望まれる新しい技術の開発に焦点を絞ってとりまとめています。そして、タイトルも「グリーン・イノベーション—価値観を変える明日の生命と地球のための技術—」と名付けました。このような技術図書が、新たな公共の創設に貢献するものと考えています。

ISBN : 978-4-541-03677-3

